

第1章 26年度事業の活動概況

平成26年度は、各部会での事業が着実に進捗し、成果が目に見えて現れた一年であった。特に、商店街協定部会における協定の実施において、「川崎駅東口周辺道路適正利用協議会」を通じて商店街のはみ出し広告及び商品展示の規制が数回にわたるパトロールの成果として表れている。さらに、客引き防止も条例化に向けて、大きく進んでおり、27年度中に成立することが期待できる。また、イベント部会におけるフェスティバルなかわさきの共同PR事業の参加団体が増加し、秋のイベントの成果に表れてきている。提言部会においてもこれまでの検討をまとめたことにより、かわさきTMOが目指すものがまとめられたことにより、各事業の意味や目指すものが明らかとなり、広くインパクトを与えつつある。回遊性部会のバスカー事業、オープンカフェ事業は着実に地域に定着しつつあり、街の環境が変わりつつあることが大きく知られるようになった。このような各事業のほかにも、スポーツと街づくりや荷捌きの対応、川崎駅前開発事業への対応などへのTMOの活動が連携している。

本年度の活動概況について、組織全体としての活動及び各部会の活動をまとめる。

1-1 総会、役員会、部会運営

1-1-1 総会

| 日付 | 参加者 | 検 討 項 目 |
|-------------|-----|---|
| 平成26年6月23日 | 24名 | ・平成25年度事業報告及び収支決算について ・平成26年度事業計画及び収支予算案について ・今後の事業運営方針について |
| 平成26年11月25日 | 21名 | ・平成26年度事業遂行状況報告について ・各部活動報告 ・その他（意見交換） |

(1) 平成26年度第1回かわさきタウンマネジメント機関（TMO）総会議事録

日時：平成26年6月23日（月）午後2時～4時

会場：川崎商工会議所2階第6会議室

参加者：24名（敬称略）

| | |
|---|--|
| 川崎中央商店街連合会 猪熊 俊夫 (チネチッタ通り商店街振興組合理事長) | 川崎駅前商店街連合会 馬場 義弘 |
| 川崎平和通商店街振興組合 戸村 正房 大西 直治 | 川崎銀柳街商業協同組合 小島 照彦 たちばな通商店街振興組合 藤村 稔 |
| 川崎銀座商業協同組合 小林 一三 | 川崎駅前仲見世通商店街振興組合 関 功郎 |
| 川崎市東田商店街商業協同組合 木村 教義 | 川崎砂子会協同組合 武藤 聰宏 |
| (株)アトレ川崎 梅田 研三 | (株)さいか屋 新井 俊浩 |
| 川崎信用金庫 大西 淳夫 | 横浜銀行川崎支店 児玉 征史 |
| 川崎商工会議所 岩井 新一 | 日本政策金融公庫川崎支店 長尾 美加雄 |
| 川崎区役所 長沼 芳之 | 川崎市経済労働局 岩間 尚史 露木 洋明 |
| (株)京急アドエンタープライズ 中込 雄一 | |
| 川崎市産業振興財団 小野澤 裕幸 | タウンマネージャー 笹原 克 |
| | 事務局 神谷 修 六反友佳里 |

会員 28 会員中 16 名出席（委任状行使権者 7 名）

1) 開 会

司会：神谷

会長挨拶：猪熊会長

ワンコインバスの試験走行、川崎名物として定着したバスカー、また商店街協定は、行政主導による道路適正利用推進協議会の発足に結びつくなど、TMO の活動は確実な成果を上げてきており、川崎の中央地区は 1 本の線で結ばれつつあるような気がする。しかし、北口に続く南口改札、大型観光バスの駐輪場設置、回遊性の向上などまだまだ課題は多く、これからも TMO の発展のために、ご協力をお願いしたい。

2) 新しい会員の紹介

配布資料を確認後、異動により、新しい会員となった 4 名の紹介ならびに自己紹介が行われた。

新会員（敬称略）

(株)さいか屋 新井 俊浩

(株)アトレ川崎店 梅田 研三

(株)横浜銀行川崎支店 児玉 征史

日本政策金融公庫川崎支店 長尾 美加雄

3) 議事<議長：猪熊会長>

ア 平成 25 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

事務局の川崎商工会議所・神谷から「平成 25 年度事業報告(案)及び収支決算(案)」(資料 1・2)に基づいて説明が行われた。

⇒「平成 25 年度事業報告(案)及び収支決算(案)」について一同承認

イ 平成 26 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

事務局の神谷から「平成 26 年度事業計画(案)及び収支予算(案)」(資料 2・3)に基づいて、川崎駅周辺市街地活性化事業の概要及び中心市街地活性化マネジメント事業の概要につき説明を行い、総額 17,195 千円の予算書が報告された。

また、平成 26 年度は、市からの補助金が 1,244 千円から 695 千円へと減額になるので、これまで補助金で負担していたイベント団体負担金を補助金と受託金の折半で負担することになること、またタウンマネージャーの謝金を給料手当の科目から諸謝金の科目へ移すことなど補足説明が行われた。

⇒「平成 26 年度事業計画(案)及び収支予算(案)」について一同承認

ウ 「今後の事業運営方針について」として、TMO の趣旨および各部会活動事業について笹原タウンマネージャーによる説明ののち、各部会長による補足説明が行われた。

【かわさき TMO の趣旨】

・一言で言うと「地域の価値を上げたい」というのが TMO の趣旨。価値を下げる要因として、東口商店街の環境悪化（はみ出し看板、はみ出し展示、汚れ等で歩きにくい、客引きが怖い、といった来街者の声が市へ寄せられている）がある。今年度はこれに立ち向かい、整備していく正念場と考えている。

また、①羽田空港国際化に伴い、どう対応していくのか、②川崎駅周辺にとっての財産でもある富士見周辺地区について行政の整備と連動した取組みをどのように進めていくのか、この二つが今年度の大きなテーマとなる。

【商店街協定部会】

・協定を守る店だけを増やしているだけでは弱い。広報によって協定を周知していくことも重要な課題。

・協定をベースに市が道路適正利用推進協議会を立ち上げた。現在は風俗の客引きだけが規制されているが、すべての客引きを禁止する条例をこの協議会の中で呼びか

けていきたい。

【イベント連携部会】

・街の力強さ、元気さといったものを測るバロメーターとなるのがイベント。イベント連携部会では、川崎のイベントをよりよくしていくことを目的に、イベント主催者が次年度へつなげる材料として自己のイベントを自ら評価するシートを作成している。今年度は、フェスティバルなかわさき参加団体のうち 10 イベントがこの評価シートによって自己評価を行った。

・平成 25 年度は、フェスティバルなかわさきへの参加団体が 15 から 17 へと増えた。春と秋のイベント主催者の意見交換、交流の場となるイベントサミットも開催した。今年度も実行委員会一丸となってフェスティバルなかわさきを進めていくので、ぜひ、周辺の商業施設の方には、フェスティバルなかわさきキャンペーン・バーゲンなどの企画でいっしょに盛り立ててもらえれば。

【共同販促部会】

・商店街・大型店との共同販促事業を十商店街の協力を要請しながら進めていきたい。

【回遊性向上部会】

・オープンカフェの実験を続けている中で、利用者アンケートには「ちょっと休めるところがほしい」といった意見が多く好評だが、公道上に開設する許可を取るのが難しく常設にはハードルが高い。ゆくゆくは、駅周辺から富士見公園のあたりまでの範囲で設置したい。

・西口と東口を循環するワンコインバスを運営したかったが、既存のバスルートの枠をこわすことができない。今後、川崎で開発されている電気自動車を活用したペロタクシーのようなものを考えていきたい。

【提言部会】

・現在 JR 川崎駅北口の開発が始まっているが、東口と西口の回遊性向上のためには、南口改札が必ず必要。この提言も引き続き行っていく。

・大型バス停留所など、川崎へ観光に来てもらうためのインフラ整備への提言も大きなテーマ。

・アクセス・クリーン・エンジョイの ACE 戦略を進めるために、殿町からのアクセス、人々が憩い楽しめる川崎駅前のシンボリック存在としての富士見公園の開発を考え

ていきたい。

【その他】

(会員からの意見)

・川崎の前の赴任地である高知では、「龍馬パスポート」というものを発行することで高知への観光リピーターを増やす試みが功を奏していた。これは、観光回数が増えれば増えるほどグレードの高いサービスが受けられるようになる、というシステム。このような試みもぜひ参考に。

・辻堂の大きなショッピングセンターは、家族で休める場所、ということをセールスポイントにして集客している。川崎駅周辺もぜひ客引きが多い状況を改善してほしい。

・歴史的な観点からも川崎駅周辺地域の街としての価値を高めるために、東海道川崎宿とTMOのコラボに期待する。

・川崎信用金庫では、本店店舗シャッター3面を川崎市観光協会の斎藤会長の監修で製作。7月24日には完成予定。

・「歩こう東海道川崎宿」や「駅からハイキング」といったイベントを川崎駅周辺の観光という意味で育てていきたい。

・大型店として、共同販促事業に協力したい。

・タッチラリーが大変好評のようだ。リピーターがかなり増えてきていることを実感している。魅力ある試みでさらに川崎を訪れる人は増えるはずだ。今後、川崎駅を取りまく川崎区と幸区で共通の集客ツールのようなものでできればと考える。

4) 閉会

挨拶：馬場副会長

(2) 平成 26 年度第 2 回かわさきタウンマネージメント機関 (TMO) 総会議事録

日時：平成 26 年 11 月 25 日 (火) 午後 3 時～4 時 30 分

会場：川崎市産業振興会館 12 階会議室

参加者：21 名 (敬称略)

| | |
|---|----------------------|
| 川崎中央商店街連合会 猪熊 俊夫 (チネチッタ通り商店街振興組合理事長) | 川崎駅前商店街連合会 馬場 義弘 |
| 川崎平和通商店街振興組合 大西 直治 戸村 正房 | 川崎銀座商業協同組合 小林 一三 |
| 川崎砂子会協同組合 武藤 聡宏 | 川崎駅前仲見世通商店街振興組合 関 功郎 |
| 川崎西口商店会 金澤 松夫 | 川崎市東田商店街商業協同組合 木村 教義 |
| (株)アトレ川崎店 梅田 研三 | 川崎信用金庫 大西 淳夫 |
| 日本政策金融公庫 林 弘二 (長尾 美加雄 代理) | 横浜銀行川崎支店 児玉 征大 |
| 川崎市経済労働局 若松 秀樹 露木 洋明 | 川崎区役所地域振興課 長沼 芳之 |
| 川崎市産業振興財団 小野澤 裕幸 | (株)京急アドエンタープライズ 菅 貴史 |
| タウンマネージャー 笹原 克 | 事務局 神谷 修 六反 友佳里 |

会員 28 会員中 13 名出席 (委任状行使者 8 名)

1) 開 会

司会：神谷

会長挨拶：猪熊会長

回遊性向上をめざしたバスカーやオープンカフェの社会実験、また、商店街協定をベースに商店街・行政・警察がタッグを組んで行うパトロール、さらに様々な提言等、TMO の取り組みにはだんだんと定評が出てきている。10 月、11 月の今年度の秋のイベント月間にしても商業、行政、警察が心を一つにして取り組んだ結果、100 万人に及ぶ来場者を迎えるなど大きな成果を上げた。川崎駅周辺には、ハードな問題が多く、なかなか前に進まないこともあるが、さらに地域が連携を深め、ハードルを一つひとつ乗り越えていくために、今後、川崎駅周辺地域の商業部門における TMO の役割はますます大きくなるように思う。引き続き、ご協力・ご支援のほど、よろしく申し上げます。

2) 活動報告

第2回総会は審議なし、報告のみ。

ア 中間報告

事務局から、資料をもとに、順調に事業予算執行中であることを報告。

イ 各部会報告

5つの部会活動について、笹原マネージャー及び各部会長から報告が行われた。

【商店街協定部会】

・川崎駅東口周辺道路適正利用に係る連続パトロールを11月17日から21日まで実施した。はみ出し陳列については、少しずつ効果が出てきている。引き続き、パトロールを行うとともに、客引きにも視野を広げ、ゆくゆくは「客引き防止条例」の制定にもつなげていきたい。

【回遊性向上部会】

・現在、主に検討を行っているのは、オープンカフェと電気自動車の活用。オープンカフェについては、今年度は5月の平日に実施しており、次回は3月の予定。それ以外の時期については、オープンカフェセットの貸し出しも行っているため、ぜひ商店街で活用を。電気自動車については、全国の事例を集めたうえで、事業形態をどうするかといったことを検討している。部会でいっしょに取組みを進めていこうとしていた同志社大学の科学技術振興機構（JST）助成事業（内容「超小型モビリティで創る安全・安心な商店街」）が不採択となったので、今後は、別の展開を考えていく。いずれにしても「歩く人をサポートする交通体系」をつくることが回遊性の目標。

【イベント連携部会】

・フェスティバルなかわさき共同PR事業への参加団体は、昨年からさらに増えて18団体19イベントと、これまでで最高の数となった。約250万円という制約の中でかなりのPR効果が上がっていると好評。参加イベント団体も力をつけてきており、これからも川崎駅周辺を盛り上げる価値のあるイベントを実施していくことが期待できるのではないかと。

【提言部会】

- ・「アクセス、クリーン、エンジョイ—川崎明日の ACE 戦略」が提言のキーワード。
- ・上記 3つのキーワードごとに分類した「JR 川崎駅周辺における商業活性化に向けての提言」（第 3 版）を作成した。
- ・今後も商業活性化に向けてさらに提言の数を増やしていきたい。

【地域共同販促部会】

- ・国際化マップ、年明けには完成予定。アクセス、観光、ショッピング、グルメなど外国人が関心を持ちそうな情報を中心にまとめた内容。川崎駅周辺情報だけに特化した内容で外国人対象に配付するガイドはこれまでなかった。
- ・国際化による外国人客を街としてどのように受け止めるかは今後の課題。
- ・TMO の自立化に向けての財源確保の一手段として、TMO カードの導入を検討中。利用者の失効ポイントを TMO へ戻すという方法で財源確保を行うもの。まだ漠然としたイメージだが、次年度の総会では、もう少し具体的な報告ができるのではないかと考えている。

3) 質疑応答

- ・5 日間連続のパトロールをやってどのようだったか？トラブルはなかったか？
→商業者が主体となって行った点が評価されている。やれば街がきれいになることも分かった。一方で売り上げに影響するなど不満の声も聞いた。はみ出していることをそもそも悪いと考えていない個店も多いので、ルールを浸透させることの大切さを実感した。また、チェーン店などでは、本部が作る看板を使っており、店内に入らない大きさの看板を使わざるを得ない状況もあった。一回ですべてきれいになくすることはないが、数パーセントの改善を積み上げていくことで、商店街の心構えを消費者に見てもらい、来街者増というよい結果につながることを目指して今後も続けていく。
(笹原マネージャー)

4) 今後の活動に向けての意見交換

- ・はみ出し看板、不法駐車、客引き・・・これらをなくさないと街がさびれてしまう。かつて横浜・元町も行い、当初は落ち込んだ売り上げが今は持ち直していると聞いている

る。看板など競争でどんどん大きくなっている側面があるが、相手をつぶせばよいというような商業道德に基づく行為は許せない。憎まれ役になっても押し進めていかなければならない。TMOの存続は重要。

・はみ出し陳列は、来街者を増やすためにはやはりマイナスポイント。逆にスペースには、来街者のための施設（設備）が必要。具体的な街デザインを見せることで、商店街関係者、消費者双方に夢をもってもらうことができればよいのではないか。

・今の川崎駅周辺は産業施設だけではなく居住空間がどんどん増えてきている。また、海外からの来街者も増えていく。この2点を視野に入れた街づくりを考えていく必要がある。

・今年、川崎へ赴任してきたばかりだが、川崎の街の印象は来る前にもっていたものと違い、きれいで活気があると感じた。はみ出し看板をなくして、さらに街をきれいにしていこうというTMOの取り組みをバックアップしていきたい。

・看板についての苦情は行政にも届いている。TMOとも協力して、改善に向けて知恵を出し合いたい。

・商店街の代表個人として個店に、はみ出しをやめてもらうよう頼みにくい。違法行為であるのは事実なので、川崎駅周辺商店街（東口も西口も）と大きな連携の中で進めていければ。

・同業者同士でやりにくいのは理解できる。ただ、はみ出し陳列をやめないと将来街がどうなってしまうか、ということを説明すると分かってくれるところも多い。代表者は、一時的に憎まれてもやるしかない、という気持ちで臨まないと街がだめになってしまうように考える。

・商店街に子どもたちの絵を展示することによって、はみ出し陳列がなくなったという商店街の話聞いたことがある。商店街の自浄作用を促すようなアイデアを出し合う必要がある。

5) 閉会

挨拶：馬場副会長

1-1-2 役員会

| 日 付 | 参加者 | 検 討 項 目 |
|-------------------|------|--|
| 平成 26 年 4 月 21 日 | 15 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26・27 年度会長・副会長の選任について ・平成 25 年度決算報告について ・平成 26 年度予算（案）について ・TMO 自立化に向けて |
| 平成 26 年 5 月 19 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の事業予算について ・TMO の自立化に向けて ・各部会報告 |
| 平成 26 年 7 月 22 日 | 9 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路適正利用推進協議会パトロールについて ・TMO の自立化に向けて ・各部会報告 |
| 平成 26 年 8 月 25 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路適正利用推進協議会について ・今年度の提言第 1 版について ・各部会報告 |
| 平成 26 年 9 月 29 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路適正利用推進協議会パトロールについて ・平成 27 年度かわさき TMO 収支予算見積案について ・各部会報告 |
| 平成 26 年 10 月 27 日 | 16 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・「映像のまち・かわさき」への商店街の協力について ・川崎駅東口商業活性化セミナーについて ・道路適正利用推進協議会のパトロールについて ・各部会報告 |
| 平成 26 年 12 月 22 日 | 14 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路適正利用連続パトロールの報告 ・川崎市客引き行為等防止条例の骨子（案）について ・TMO 自立化に向けて かわさき TMO ポイントカード ・各部会報告 |
| 平成 27 年 1 月 26 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・川崎駅東口商業活性化セミナーについて ・TMO 自立化に向けて TMO カードについて ・各部会報告 |
| 平成 27 年 2 月 23 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・TMO 自立化に向けて TMO カードについて ・川崎市客引き防止条例の進捗について ・各部会報告 |
| 平成 27 年 3 月 23 日 | 15 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・TMO 自立化に向けて 28 年度 TMO 予算について ・都市再生推進法人制度について ・各部会報告 |

1-1-3 部会運営

商店街協定部会

| 日 付 | 検 討 項 目 |
|-------------------|--|
| 平成 26 年 5 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・商店街協定の実効性について ・客引き防止のための条例制定に関する ・道路適正利用推進協議会にむけて |
| 平成 26 年 7 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・7月3日パトロール実施の状況把握 ・今後のパトロール実施に向けての検討 ・連続パトロールの提案 ・協定順守への普及広報活動について |
| 平成 26 年 8 月 5 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路適正利用推進協議会に参加 ・連続パトロールに向けての対応策検討 ・商業者側の参加者確保の可能性 |
| 平成 26 年 9 月 2 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロールの検討 ・パトロール事前通告の検討 ・パトロール後の協定認定への連続性検討 |
| 平成 26 年 10 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール実施に向けて調整 ・川崎警察、川崎市路政課との合同にて調整 ・商業者主体で5日間連続パトロール実施 |
| 平成 26 年 11 月 4 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール実施に向けて調整 ・川崎警察署と実施体制の確認 ・商業者側の体制確認 |
| 平成 26 年 11 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施する |
| 平成 26 年 11 月 18 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施する |
| 平成 26 年 11 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施する |
| 平成 26 年 11 月 20 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施する |
| 平成 26 年 11 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施する |
| 平成 26 年 12 月 11 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後のパトロールの検討 ・路政課、道路公園センターと今後の方針について検討 ・年度内にもう一度連続パトロールを行う |
| 平成 26 年 12 月 24 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後のパトロールの検討 ・川崎警察に今後の方針説明 ・年度内に連続パトロールを行うことで合意 |
| 平成 27 年 1 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロールの年度内実施の検討 ・路政課、道路公園センター、商業観光課と調整 ・今回は、2月中に実施する ・全国チェーン店本店への注意書発送を決定 |
| 平成 27 年 2 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・3月連続パトロールの実施体制検討 ・路政課、道路公園センター、商業観光課と調整 ・3月2日～4日の3日間実施する、(翌週に延期) |
| 平成 27 年 3 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施 |
| 平成 27 年 3 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施 |
| 平成 27 年 3 月 11 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・連続パトロール2班体制で実施 |

共同販促部会

| 日 付 | 検 討 項 目 |
|-------------------|--|
| 平成 26 年 5 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・川崎駅周辺地区ポイントカードの可能性検討 ・TMOポイントカードの財源化の可能性検討 ・失効ポイントの活用に関して |
| 平成 26 年 6 月 3 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードの構造説明 ・ポイントカードの川崎への導入の可能性 |
| 平成 26 年 8 月 28 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード導入に向けての手順検討 ・ポイントカードの展開の可能性検討 ・導入商業者の負担検討 |
| 平成 26 年 10 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード導入の検討 ・ポイントカード導入の全国事例検討 ・川崎地区と類似事例の検討 |
| 平成 26 年 11 月 11 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード導入の初期投資の検討 ・ポイントカード導入におけるランニングコストの検討 ・ポイントカードの地域振興への効果検討 |
| 平成 26 年 12 月 2 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードの他地域活用の検討 ・大型店と商店街のポイントカードの活用の可能性 ・商店街のポイントカード導入のメリット |
| 平成 27 年 1 月 20 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードによるデータ活用 ・商店街へのマーケティングデータ活用の可能性 ・TMOにおけるデータ活用の方法 |
| 平成 27 年 3 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・カード導入の連携体制の可能性検討 ・初期費用提供企業の可能性 ・TMOの自立化に向けてのカード導入 |

提言部会

| 日 付 | 検 討 項 目 |
|-------------------|--|
| 平成 26 年 5 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・提言書原案検討 ・提言内容項目検討 ・提言内容の方針 |
| 平成 26 年 7 月 22 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・提言書素案検討 ・提言内容の洗い出し ・提言内容の骨子検討 |
| 平成 26 年 9 月 29 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・提言書素案検討 ・素案項目の検討 ・全体方針の確認 |
| 平成 26 年 10 月 30 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告書へのまとめ ・一部構成変更 ・報告書試案のまとめ |
| 平成 26 年 12 月 15 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告書案の確認 ・追加の図の検討 |

回遊性向上部会

| 日 付 | 検 討 項 目 |
|------------------|---|
| 平成 26 年 4 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月開催オープンカフェ準備状況について ・ 通行量調査結果について |
| 平成 26 年 5 月 12 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンカフェ実験について ・ 駅前地区の交通体系について |
| 平成 26 年 6 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎発電気自動車 運営体制の検討について ・ オープンカフェ事業 今後の検討について |
| 平成 26 年 7 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月のオープンカフェ実験 調査結果について ・ 川崎発電気自動車の運営について |
| 平成 26 年 8 月 11 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎発電気自動車の運営について |
| 平成 26 年 9 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎発電気自動車の運営について 「超小型モビリティで創る安全・安心な商店街」 |
| 平成 26 年 10 月 3 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎発電気自動車に関してルート設定等 ・ 電気自動車導入による運航事業スキーム ・ 荷捌きとの調整 |
| 平成 26 年 11 月 4 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同志社大学連携の助成事業の採択に関して ・ TMO 自主的な電気自動車運営の可能性検討 ・ 電気自動車以外の可能性 |
| 平成 26 年 12 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンカフェの今後の可能性の検討 ・ 銀座街でのオープンカフェの検討 ・ 平和通り（三角広場）でのオープンカフェの検討 ・ 第三庁舎（たちばな通り側）でのオープンカフェの検討 |
| 平成 27 年 1 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和通りでのオープンカフェに向けて ・ 新しい交通体系の再検討 ・ 都市再生整備推進法人制度に関して |
| 平成 27 年 2 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和通りオープンカフェの確認事項 ・ 来街者アンケート集計速報の検討 ・ 回遊性の今後の事業に関して |
| 平成 27 年 3 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和通り春の遊遊広場の確認 ・ 来街者アンケートの報告 ・ 来年度回遊性事業の展開 |
| 平成 27 年 3 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和通り春の遊遊ひろば＝オープンカフェ開催 |

○川崎フロンティアビル前の歩行者専用道路でのオープンカフェ事業
日時 平成 26 年 5 月 12 日（月）・15 日（木）・19 日（月）・22 日（木）
11：00～17：00

備品 パラソル付きガーデンテーブル 4 台 椅子 12 脚

実施状況 12 日（月）強風のため中止 22 日（木）正午前に集中豪雨のため中止
15 日（木）・19 日（月）2 日間実施 延べ利用者数 52 名

○川崎平和通商店街商業協同組合（三角広場）春の遊遊ひろばオープンカフェ事業
日時 平成 27 年 3 月 17 日（水）11：30～16：00

備品 パラソル付きガーデンテーブル 2 台 椅子 8 脚

実施状況 当日は小春日和の好天であり、セントラルホテルさんのご厚意により
コーヒーの無料サービスがあり、昼食時に利用者が多かった。

イベント連携部会

1) 「連連連・つながりかわさき」イベント実行委員会の運営

| 日 付 | 検討項目 |
|------------------|---|
| 平成 26 年 5 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省と今年度のイベントについて ・イベント日程（10 月 18 日（土）19 日（日））に開催 |
| 平成 26 年 6 月 12 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の運営方針について ・イベント内容はバスカー祭りとロボット大会など |
| 平成 26 年 7 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の予算について ・ホームページ、パンフレットの作成について |
| 平成 26 年 8 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの検討 ・協賛と広告について |
| 平成 26 年 9 月 5 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・協賛の状況について検討 ・出店者の状況と会場レイアウトについて |
| 平成 26 年 10 月 6 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント前・当日準備及び役割分担について ・イベントスケジュールについて ・収支予算について |

2) イベント共同ポスター等の作成（フェスティバルなかわさき実行委員会の運営）

| 日 付 | 検討項目 |
|------------------|--|
| 平成 26 年 6 月 12 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の振り返り ・今年度の事業運営検討 予算、活動内容の検討 |
| 平成 26 年 7 月 14 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・トークるん「AR 動画アプリ」について ・今年度のイベント負担金について ・今年度の事業運営検討 共同 P R ポスター・告知イベント |
| 平成 26 年 8 月 18 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同 P R ポスター及びその他のチラシ作成について ・ラゾーナ川崎プラザ告知イベントの概要について ・イベント評価シートについて |
| 平成 26 年 8 月 22 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・A4 版告知イベント用チラシ結束作業実施 |
| 平成 26 年 9 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・市長表敬について ・告知イベントのスケジュールについて ・A4 版フェスティバルなかわさきチラシ結束作業実施 |
| 平成 26 年 9 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・福田川崎市長表敬訪問 各イベント概要説明 参加イベント団体 延べ 25 名参加 |

○PR 内容について（16 イベントを一括して）

ポスター作成

B3 ポスター 2,000 枚（南武線掲載用・京急線掲載用・協賛企業・イベント団体用）

B1 ポスター 23 枚（J R・京急駅貼り用）

A4 チラシ 10,000 枚（告知イベント用・区内小学校高学年生に配布）

A4 チラシ 10,000 枚（バス広告チラシ・タッチラリー会場他）

イベントガイド作成

東京新聞 TODAY（9 月 27 日付掲載）160,000 部（宅配用）

他に 20,000 部増刷（イベント団体配布・タッチラリー会場にて配布用）
南武線・鶴見線窓上広告掲載 期間：10月1日～10月31日
京急線3駅（京急蒲田・川崎・鶴見駅に駅貼りポスター3週間掲出）
JR各駅に掲載（川崎駅長の厚意により無料にて掲載した）

ラゾーナ川崎プラザ告知イベントについて

日 時 平成 26 年 9 月 27 日（土）午後 2 時～4 時
場 所 ラゾーナ川崎プラザ ルーフ広場グランドステージ
内 容 [タイムテーブル案]
11:30 STAFF 入り・会場設営開始・音響設営開始
13:40 川崎純情小町☆ オープニングライブ
13:55 司会者イベント趣旨説明
14:00 猪熊会長 開会のご挨拶
14:03 アメフトパフォーマンス
14:13 フェスティバルなかわさき参加イベント 各イベント紹介①
 ゲスト：井上京子&かわさき★レインボーガール
14:28 阿波踊り パフォーマンス
14:33 川崎純情小町☆ライブ&
 川崎市消費生活展&消費者教育推進フェスタ 紹介
14:48 川崎・幸警察署 寸劇
15:03 フェスティバルなかわさき参加イベント 各イベント紹介②
15:13 モントルー・ジャズフェスティバル L I V E : u k o
15:23 田口やすひこ L I V E
15:28 川崎バスカー L I V E
15:43 大ジェンカ大会スタート
15:55 フィナーレ

3) イベントサミットの開催

日 時 平成 27 年 3 月 5 日（木）15：00～

場 所 川崎市産業振興会館 12 階会議室

参加者 14 名

内 容 片岡氏より 2006 年のスタートから今年度までの歩みを報告。

今年度来場者数が 150 万人を超えたこと、イベント評価が全て提出されたとの報告が事務局よりなされた。

今年度は、好天に恵まれ来場者が多かったものの、警察からのその警備体制に関する注文が厳しくなった。告知イベントに市長の参加を検討するなどの意見が出された。

1-1-4 その他の事業

(1) セミナーの開催

川崎駅東口商業活性化セミナー

日 時 平成 27 年 2 月 26 日 (木) 14:00～

場 所 川崎商工会議所 2 階第 5・6 会議室

講 師 (株) プロデューサーハウス 代表取締役 堀切 研一 氏
中小企業診断士 当所専門相談員

演 題 「川崎駅東口周辺の商業と街づくりを考える」

参加者 29 名 5 グループに分かれてワークショップ形式の討議。

(2) 中心市街地商業環境調査事業 (通行量調査)

調査日時 平成 27 年 3 月 5 日 (木) 10:00～20:00 天候: 晴れ

平成 27 年 3 月 8 日 (木) 10:00～20:00 天候: 雨のち曇り

調査箇所 24 か所

調査内容 各調査地点において、方向別の男性歩行者、女性歩行者、
自転車別に観測を行った。